

多摩市の医療の全体像・将来像

多摩市の現状

- 高齢化率など
- 元気な高齢者が多い

多摩市の医療

- 医療提供体制
- 国や東京都の動き

将来像

- 医療需要の推計
- 南多摩医療圏
- 地域完結型医療

1 多摩市の現状！

■ 人口	148,724人
■ 世帯数	71,114世帯
■ 面積	21.01 km ²

1 ニュータウンのあるまち—1970年代から計画的に整備

- 市総人口の約66.2% (H29.1.1現在)、市総面積の約60%
- 初期入居後40年が経ち、建物や設備等の老朽化などの問題



2 日本最速といわれる高齢化率！—30年で5.4倍

…要因：ニュータウン—斉入居・団塊の世代多い等

- 高齢化率 平成元年5.2% → H31年**28.1%** (各年1.1現在) (多摩市市民課)
- 合計特殊出生率 (H29年) 多摩市:1.21人 東京都:1.21人 (東京都福祉保健局資料)

3 元気な高齢者が多い！→介護保険料は、国や都より月1,000円以上も安い！

- 健康寿命 東京都内で、男性1位 女性2位
男性83.94歳 女性86.65歳 (H31年公表東京保健所長会方式 (H29年) 要介護2以上)
- 平均寿命
男性82.0歳 女性87.8歳 (平成30年厚労省公表 平成27年全国市区町村別生命表)
- 介護保険料 月4,809円 (国平均月5,869円、都平均5,834円 都内で2番目に安い)
武蔵野市 6,240 1431円 西東京 6,367

4 市民活動が活発！

- 人口10万人あたりNPO法人数 都内26市で2位 (58.2法人) (H25年度)

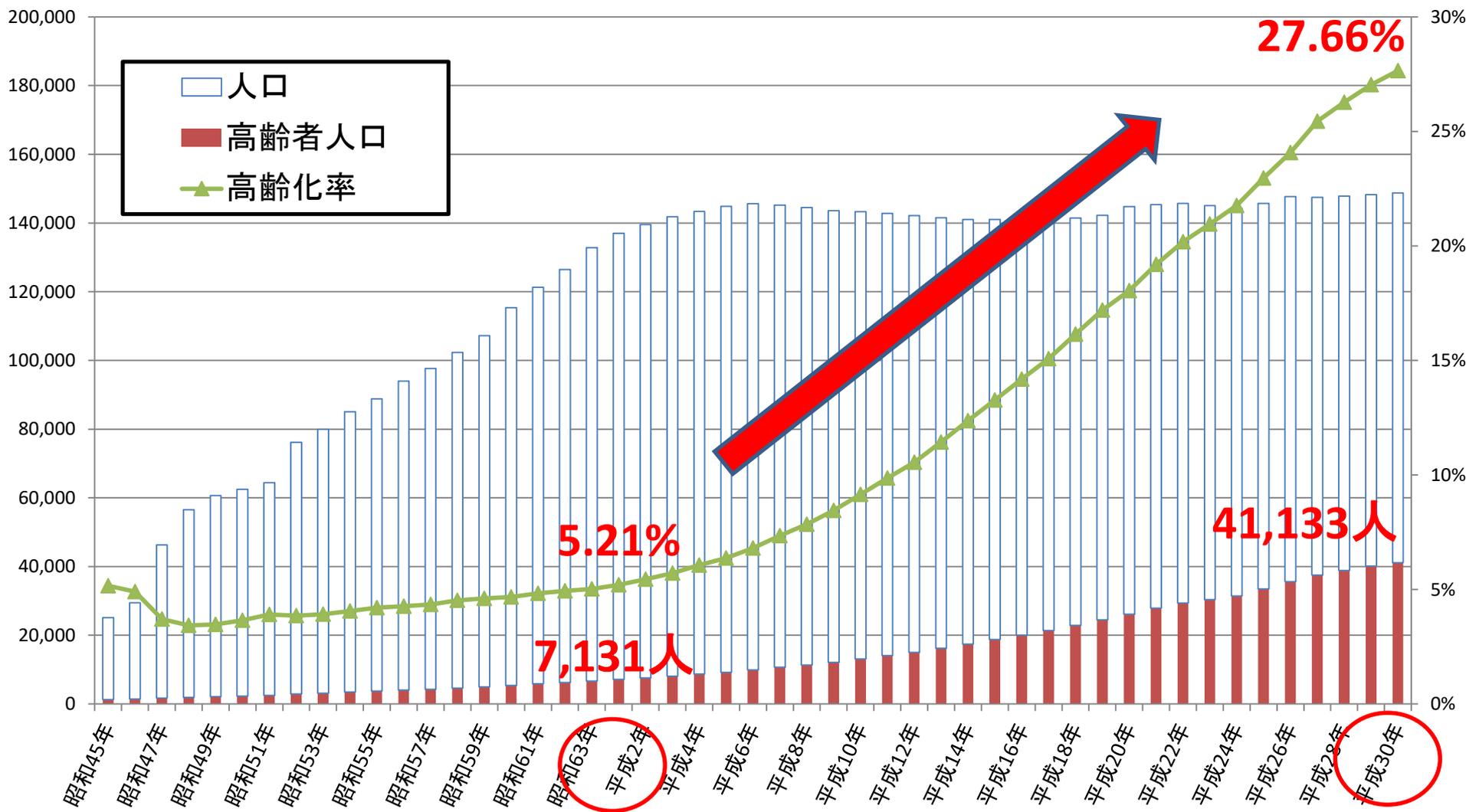
5 緑が多い環境！—みどり率 53.9% (東京都基準)

- 市民1人あたり市立公園面積 都内26市で第1位 (13.60m²) (H27.4.1現在)

30年で 高齢化率は5.3倍！ 高齢者人口は5.7倍！

➤ H元年**5.21%** → H31年**28.1%** (各年1.1現在)

(人)



多摩市の医療提供体制 その1

- ◆ 多摩市内には現在8か所の病院が存在し、うち2つが精神科のみを有する医療機関である。
- ◆ 医療機能別の許可病床数は以下の通りである。
 - ◆ 高度急性期(30床):日本医科大学多摩永山病院、公益財団法人東京都保健医療公社多摩南部地域病院
 - ◆ 急性期(737床):聖ヶ丘病院、日本医科大学多摩永山病院、公益財団法人東京都保健医療公社多摩南部地域病院
 - ◆ 回復期(134床):天本病院、一般財団法人愛生会厚生荘病院
 - ◆ 慢性期(495床):天本病院、社会福祉法人日本心身障害児協会島田療育センター、一般財団法人愛生会厚生荘病院
- ◆ 診療所については、有床3施設を含めて59の診療所(内科系のみ)があり、14の訪問看護ステーションがある。
- ◆ 在宅医療に関して、介護を含めてグループでサービスを提供する大型の診療所として、河北医療財団「あいセーフティネット」と医療法人社団めぐみ会があり、市の在宅医療を牽引する存在である。

多摩市の医療提供体制 その2

市内医療機関(病院)の病床数 一覧

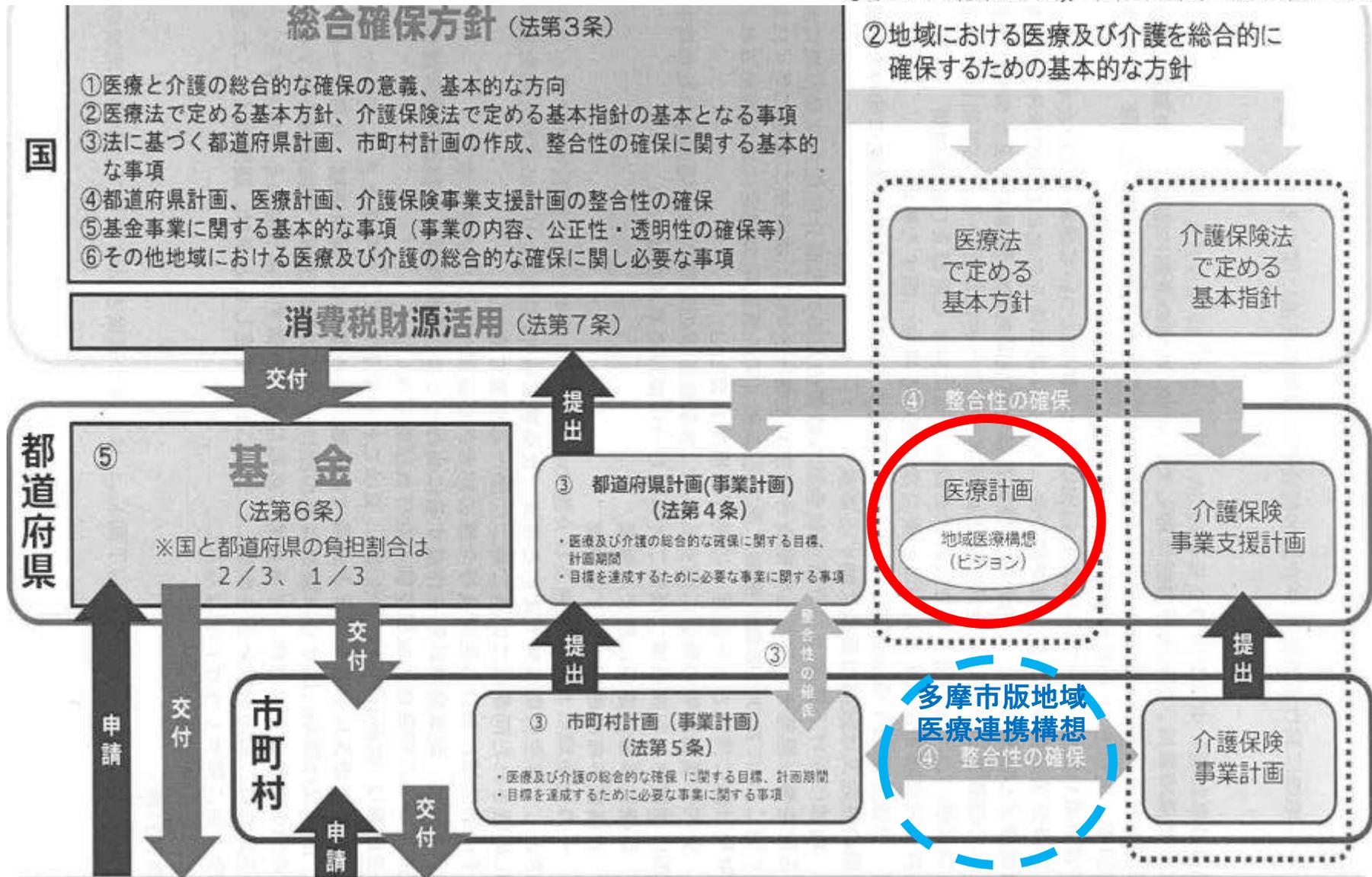
<平成29年度>

医療機関名		許可病床数・稼働病床数								医療機能別許可病床数					
		一般病床		療養病床		うち、 医療療養病床		うち、 介護療養病床		精神病床 稼働 病床数	高度急性期 許可病床 数	急性期 許可病 床数	回復期 許可病 床数	慢性期 許可病 床数	休棟等 許可病 床数
		許可 病床数	稼働 病床数	許可 病床数	稼働 病床数	許可 病床数	稼働 病床数	許可 病床数	稼働 病床数						
一般 病院	日本医科大学多摩永山病院	401	401	-	-	-	-	-	-	-	24	377	-	-	-
	公益財団法人東京都保健医療公社 多摩南部地域病院	318	287	-	-	-	-	-	-	-	6	312	-	-	-
	聖ヶ丘病院	48	48	-	-	-	-	-	-	-	-	48	-	-	-
	天本病院	95	95	48	48	48	48	-	-	-	-	-	93	50	-
	一般財団法人愛生会 厚生荘病院	41	41	202	202	104	104	98	98	-	-	-	41	202	-
	社会福祉法人日本心身障害児協会 島田療育センター	243	243	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	243
精神 科 病院	社会福祉法人 桜ヶ丘社会事業協会 桜ヶ丘記念病院	-	-	-	-	-	-	-	-	467	-	-	-	-	-
	医療法人社団 聖美会 多摩中央病院	-	-	-	-	-	-	-	-	349	-	-	-	-	-
(報告医療機関 小計)		1,146	1,115	250	250	152	152	98	98	816	30	737	134	495	-

国や東京都の動き

平成26年

地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律



事業者等（医療機関、介護サービス事業所等）

病床の機能分化・連携
 在宅医療の推進・介護サービスの充実
 医療従事者等の確保・養成

入院／入院外別、疾患別の将来需要推計

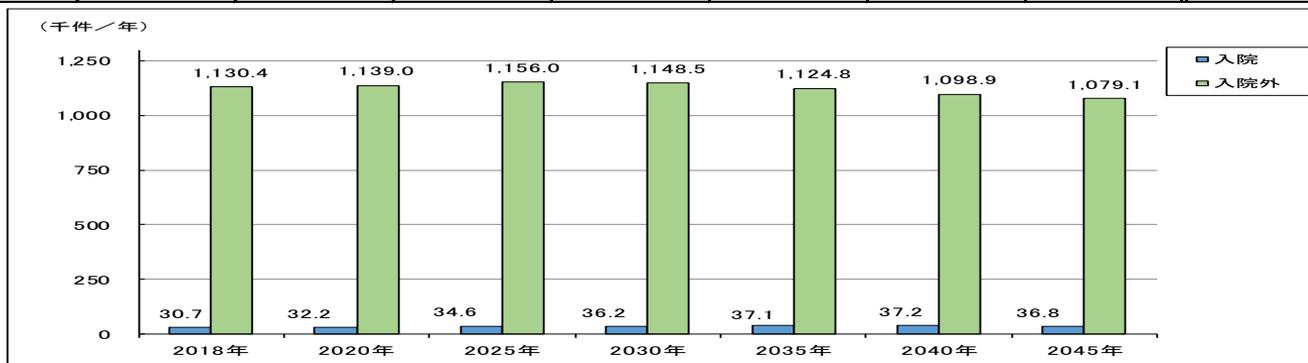
◆ 多摩市の2045年までの将来推計レセプト件数は以下の通りである。

- ☞ 入院需要は、19.7%増加
⇒循環器系の疾患34.2%増加、新生物:11.4%増加
- ☞ 入院外需要は、4.5%減少
⇒循環器系の疾患:19.0%増加、神経系の疾患:6.7%増加

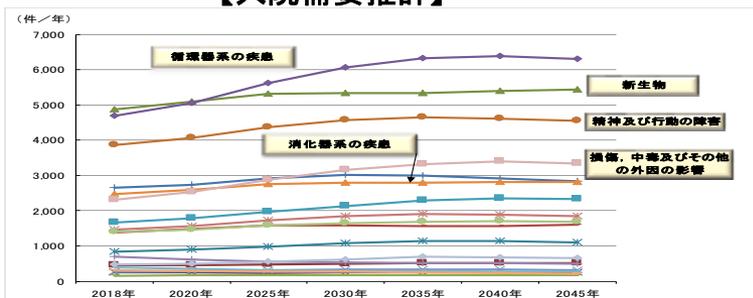
【入院・入院外別の推計レセプト件数】

単位: 件／年

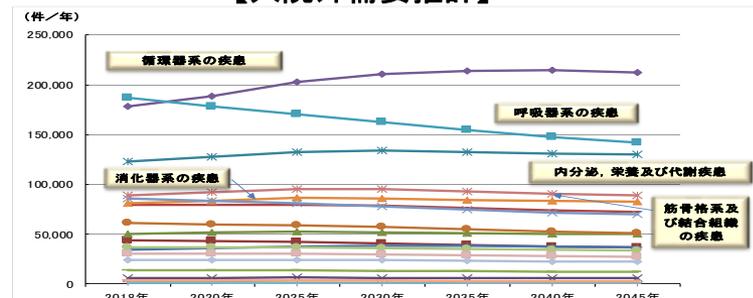
	2018年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2025年 /2018年	2045年 /2018年
入院	30,694	32,210	34,618	36,206	37,055	37,170	36,755	112.8%	119.7%
入院外	1,130,380	1,138,956	1,156,044	1,148,467	1,124,844	1,098,925	1,079,115	102.3%	95.5%



【入院需要推計】



【入院外需要推計】



出典)平成29年度協会けんぽおよび国民健康保険(退職者含む)・後期高齢者医療制度レセプト(いずれも多摩市分)
国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)』より社会保険被保険者の数も含めて推計

多摩市 在宅医療の将来推計(年間推計件数)

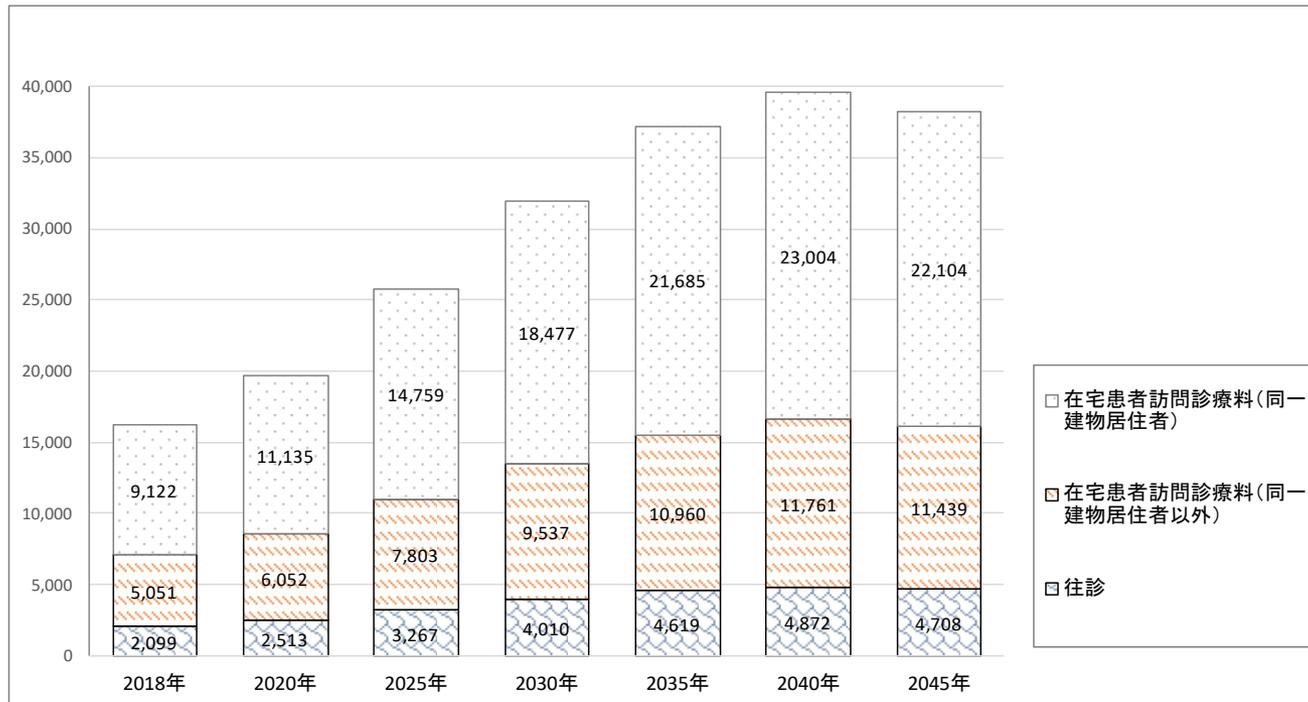
◆ 多摩市の在宅医療関連の診療行為に関する将来推計レセプト件数は以下の通りである。

- ☞ 在宅患者訪問診療料(同一建物居住者)は、142.3%増加
- ☞ 在宅患者訪問診療料(同一建物居住者以外)は、126.5%増加
- ☞ 往診は、124.3%増加

期間：平成29年4月～平成30年3月

単位：件/年

在宅関連の診療行為	2018年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2025年 /2018年	2045年 /2018年
計	16,272	19,699	25,830	32,024	37,264	39,637	38,252	158.7%	235.1%
在宅患者訪問診療料(同一建物居住者)	9,122	11,135	14,759	18,477	21,685	23,004	22,104	161.8%	242.3%
在宅患者訪問診療料(同一建物居住者以外)	5,051	6,052	7,803	9,537	10,960	11,761	11,439	154.5%	226.5%
往診	2,099	2,513	3,267	4,010	4,619	4,872	4,708	155.7%	224.3%



東京都における現状の各疾病・事業ごとの医療提供体制

三次保健医療圏（都全域）

○救命救急 ○周産期

二次保健医療圏

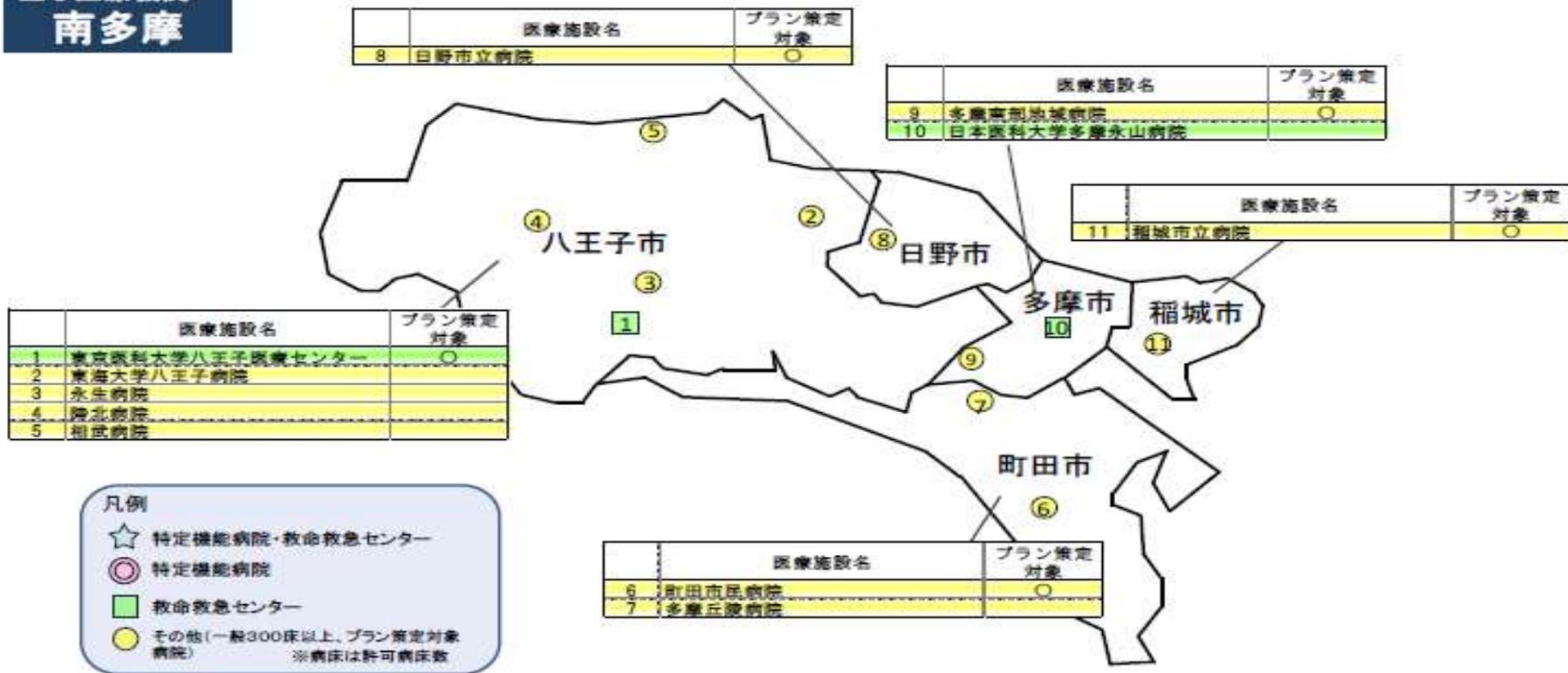
○がん ○脳卒中 ○急性心筋梗塞 ○糖尿病 ○認知症疾患医療センター
○災害医療 ○二次救急 ○小児二次救急



南多摩医療圏域における主な医療機関

構想区域の状況（南多摩）①

主な医療機関 南多摩



- 凡例
- ☆ 特定機能病院・救命救急センター
 - 特定機能病院
 - 救命救急センター
 - その他（一般300床以上、プラン策定対象病院）
※病床は許可病床数

<2025年の医療需要>

機能 (医療資源投入数)	高度急性期機能 (3,000床～)	急性期機能 (800～3,000床)	回復期機能 (175～800床+増) 〰	慢性期機能 (～175床)
患者数	746(人/日)	2,566(人/日)	2,760(人/日)	4,040(人/日)
病床数の必要量	995(床)	3,290(床)	3,067(床)	4,391(床)

<平成28年度病床機能報告>

機能 (自己申告)	高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能
病床数	1,525(床)	3,478(床)	725(床)	4,750(床)
病床稼働率	87.3(%)	84.8(%)	84.8(%)	92.9(%)
平均在院日数	10.4(日)	10.6(日)	62.6(日)	122.6(日)

圏域としてまとめづらい

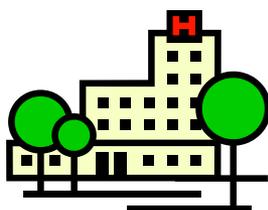
病院完結型医療から地域完結型医療へ

住み慣れた地域で
自分らしく最期まで暮らし続ける

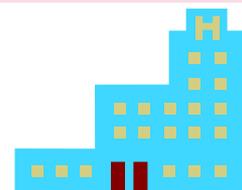
高度急性期・急性期病院



回復期病院



慢性期病院



介護・生活
支援

自宅

介護施設



在宅医療

かかりつけ医

専門外来

高度医療

緊急受入

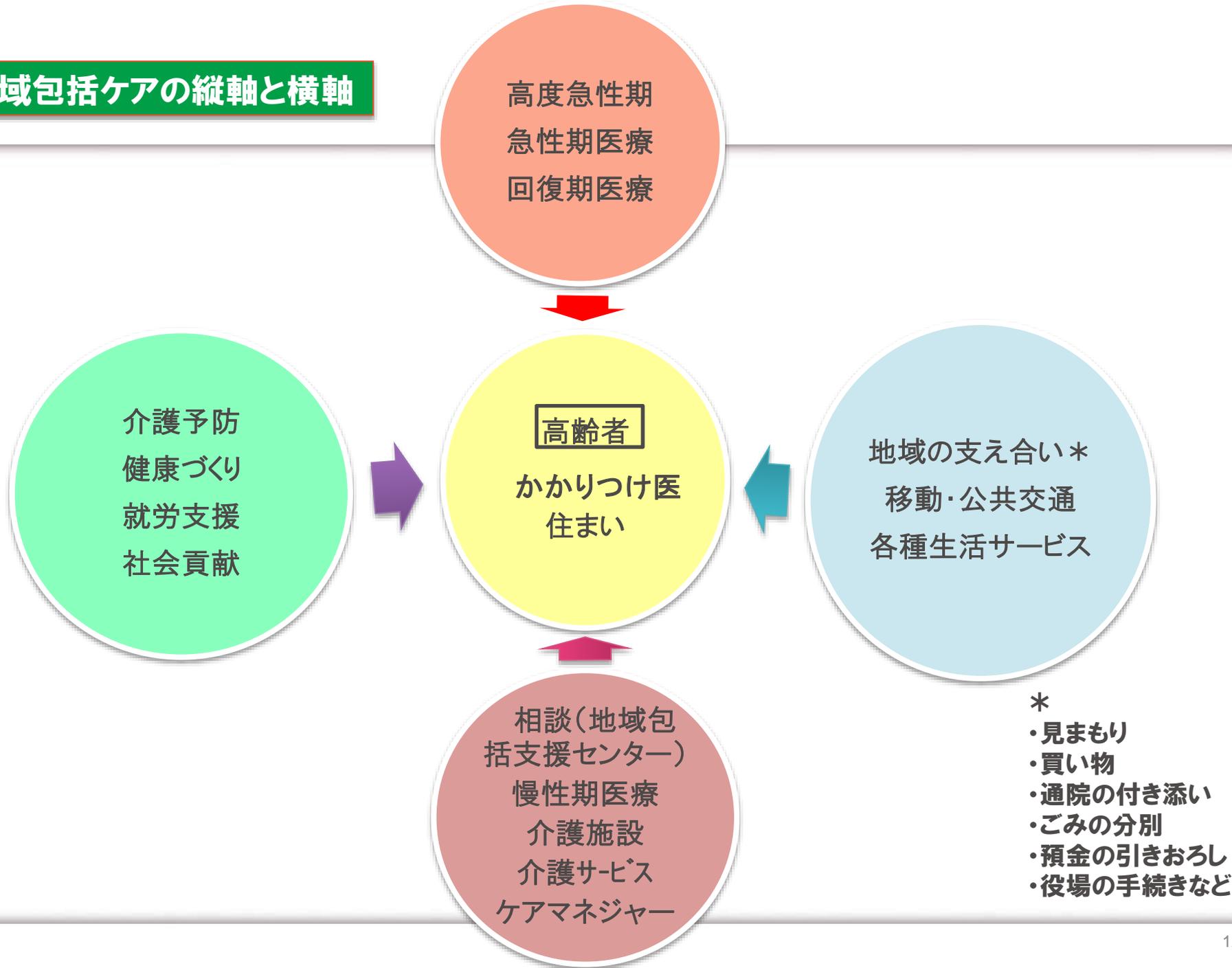
緊急受入

高度医療
専門外来

逆紹介

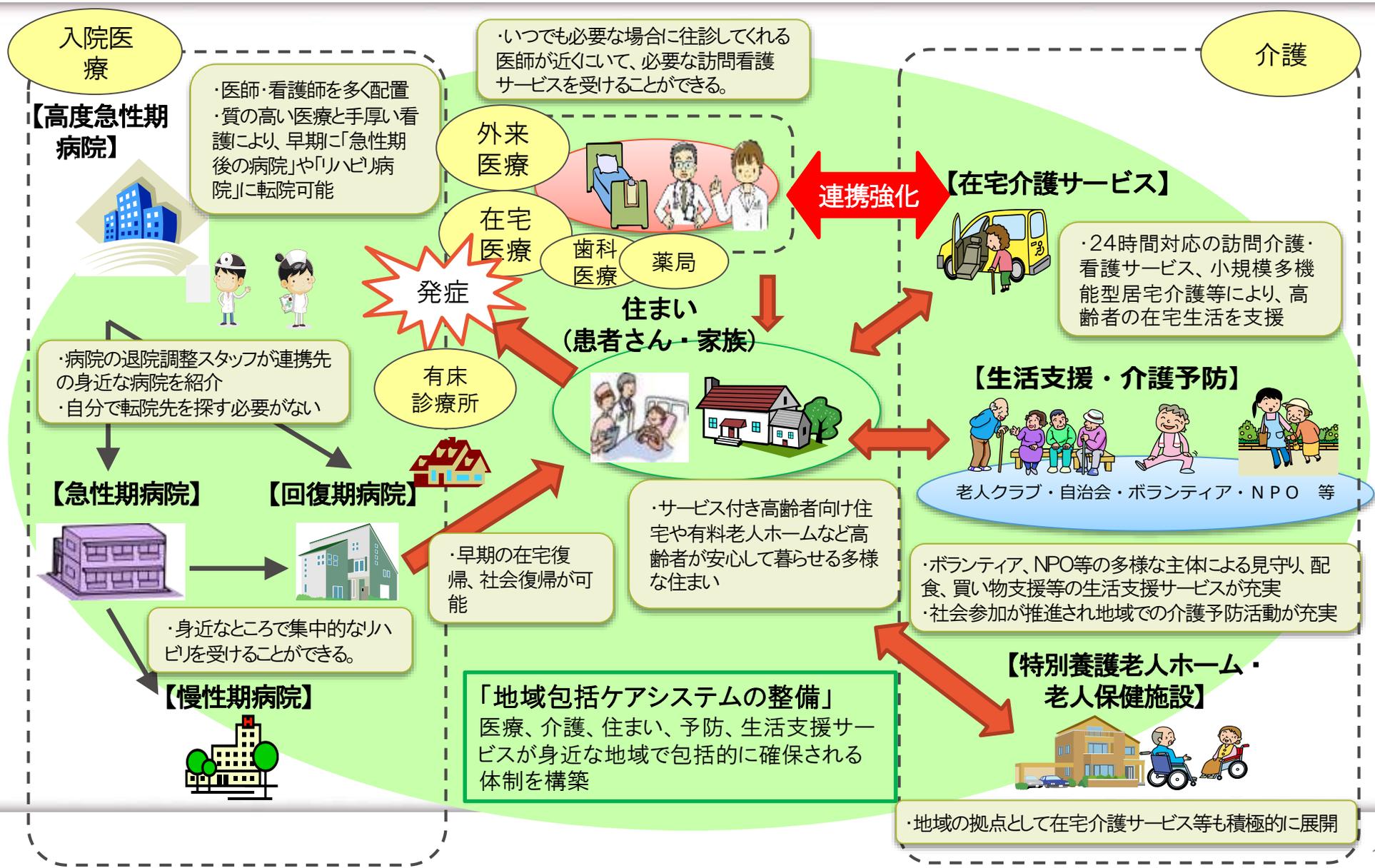
→ : 入院患者の流れ
→ : 外来患者の流れ

地域包括ケアの縦軸と横軸



縦軸

かかりつけ医
時々入院、ほぼ在宅



横軸＝地域共生社会→地域づくり

- 本格的高齢化社会
→ 地域での暮らしの重要性が増す
- 人口減少社会
→ 地域の課題・困りごとを地域で解決する選択肢
- 横軸の地域包括ケアは、地域共生社会につながり、地域づくりにつながる
→ 縦割りでなく横串(課題の範囲は生活全般)
住民協働(住民と行政)、専門職のバックアップ
健康福祉部だけでなく企画部総務部市民部も
介護保険の地域支援事業の有効活用